

新規の凝固開始因子スクリーニング 組織因子の活性評価にご活用ください

SMAT[®] - APCD

Active Pro-Coagulant Detector

凝固検査
試薬キット

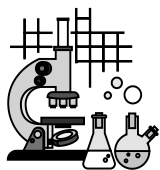
活性型血液凝固物質
の活性を特異的に
測定・評価する
非活性化血液凝固検査

APCDが 実現したこと

組織因子、内因系凝固
開始因子、活性型凝固
因子の活性評価

血漿・細胞培養液・
体液・生物製剤などに
含まれる活性型血液
凝固物質の探索

下記の研究にご利用いただいています



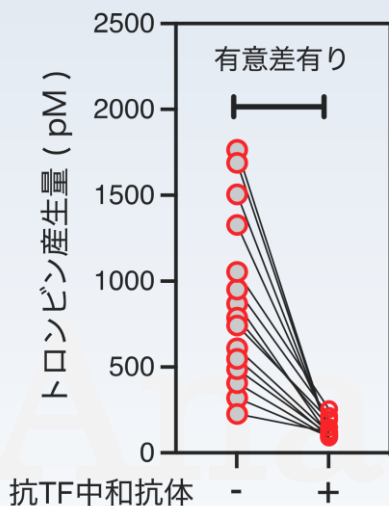
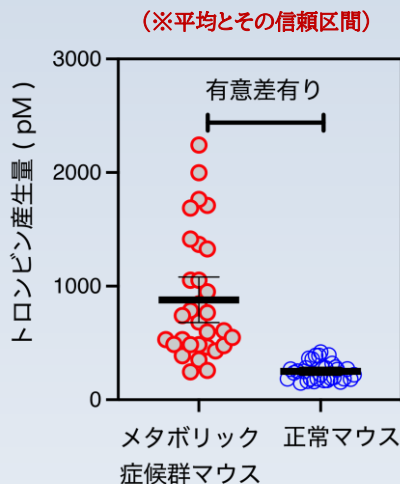
肥満・糖尿病の動物モデルを使った病態解明
組織因子と動脈硬化・炎症の研究
組織因子と癌関連血栓塞栓症の研究

WHAT IS SMAT?

- ▶ トロンビン検出において高い感度を保有
- ▶ 凝固開始初期のトロンビン産生をターゲットにした試験
- ▶ エンドポイントの迅速トロンビン産生試験

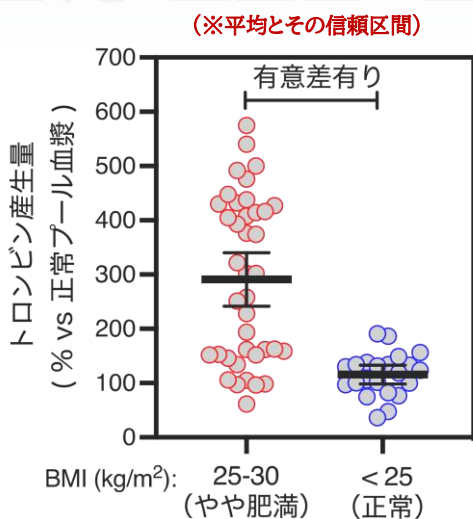
SMAT(Smart Analysis of Thrombin Production)は自社オリジナル名です

メタボリック症候群マウス(TSOD)の過凝固状態



(帝京大学薬学部・生体防御学研究室との共同研究)

BMI25-30(kg/m²)における過凝固状態(ヒト)



(帝京大学薬学部・生体防御学研究室との共同研究)

製品内容

- 白色キャップ: APCD試薬 1本
- 黄色キャップ: 塩化カルシウム溶液 1本 × 1ml
- 褐色キャップ: 蛍光性トロンビン基質/EDTA 1本 × 1.4ml
- 赤色キャップ: ヒトコントロール血漿 1本
- 青色キャップ: 溶解用緩衝液 1本 × 1ml
- 緑色キャップ: トロンビンキャリアプレート 1本 × 0.15ml
- 無色キャップ: 凝固インヒビター中和抗体溶液 1本 × 0.045ml

手順について

1. 血漿検体と【ヒトコントロール血漿】にそれぞれ【インヒビター中和抗体】を添加して前処理を行う (室温15分)
2. マイクロプレートに前処理した血漿検体と【ヒトコントロール血漿】を添加。【APCD試薬】を添加 37°C加温(4分)
3. 取り出し後、【塩化カルシウム溶液】を添加。 37°C再加温(2.5分)
4. 【トロンビン基質/エチレンジアミン四酢酸溶液】を添加 37°Cカイネティクス測定で蛍光強度をモニター(1分)
5. 終了

参考文献

初期のトロンビン産生を高感度に検出する新規凝固試験を用いた肥満における凝固亢進状態の解析. 日本血栓止血学会誌 34 (2): 205, 2023

製品名	価格(税込)	REF番号
SMAT [®] -APCD	¥ 59,600円	AP-001a

1キット20テスト使用可能です
動物種を試験する際は一度ご相談ください



(株)血栓トランスレーショナルリサーチラボ
熊本県熊本市中央区南熊本3-14-3-303 TEL/FAX 096-288-1742
2023.10A